



「まちの子育てひろば」事業 北播磨県民局事務局
TEL 0795-42-9355 FAX 0795-42-4050

まちの子育てひろば情報

No.155



平成 27 年 12 月 1 日発行



師走に入って、あちこちでクリスマスの飾りを見かけるようになりました。
なんだか見ているだけでも幸せな気分になってきます。
さあ、サンタさんは何を届けてくれるのでしょうか？



ひろば紹介



わんぱくジム (三木市加佐)

ひろば開催日時：毎週水曜日 10:00~11:30
ひろば開催場所：三木コミュニティスポーツセンター

毎週水曜日、たくさんの親子が集まって来ます。3~4歳の子どもたちが多く、いつもにぎやかで元気いっぱいのひろばです。ひろばの始まりには、お母さん方が交代で、それぞれが考えた手あそびや

★ わらべうた、体遊びをして楽しめます。そして、季節の歌を歌ったり工作を行うなど季節感あふれる活動は欠かしません。
★ ひろばアドバイザーや絵本の伝承師の派遣も行いました。
★ キッズダンスでは、音楽に合わせて動物や忍者の真似をしながら
★ 全身で楽しみました。バルーンアートでは、お母さん方は器用に犬やうさぎを
★ 作り、子どもたちは大喜びでした。そして、絵本の伝承師の方にはストーリーテリングをして
★ いただき、親子共にお話の世界に引き込まれていきました。お母さん方は「空想の世界の中で
★ お話が繰り広げられる感覚を初めて感じ、とてもよかった」と喜んでおられました。

クリスマスを楽しもう！

絵本で楽しむクリスマス



クリスマス気分を盛り上げてくれるツリー!!
おなじみの飾りにもいろいろな意味があるので、知っているとう面白いですよ。

モミの木

冬でも葉を落とさない常緑樹で永遠の命を表します

トツスター(ツリーのとっぺんの星)

キリストが生まれた時、東の空に輝いていたという「ベツレヘムの星」を表します

キャンディ・ケーン(杖の形をしたキャンディ)

羊飼いが羊を導くために使う杖の形をしていて「困っている人がいたら手を差しのべなさい」という意味が込められています

ベル

キリストの誕生を知らせた喜びのベルです



『子うさぎましろのお話』

佐々木たづ 作

サンタさんからクリスマスプレゼントをもう一度もらうために嘘をついてしまった子うさぎましろ。ちょっと罰も受けてしまったけど反省して… それから毎年みんなが素敵なクリスマスを迎えることができました。

『おおきいツリー☆ちいさいツリー』

ロバート・バリー 作

「みんなが幸せでありますように」という願いが1本のツリーのリレーで伝わってきます。子どもたちとクリスマスを楽しむに待ちながら読んでみてください。



『サンタさんのいたずらっこリスト』

ローレンス・デイヴィッド 作

さあ大変！サンタさんのいたずらっこリストにのっている子どもたちには、プレゼントが届かないんだって。いたずらっこたちは、何とかプレゼントをもらおうと大奮闘します。



ひろば紹介



ひまわりっこ (三木市志染町井上)

ひろば開催日時：毎週金曜日 10:00~12:00

ひろば開催場所：志染町公民館

ひろばアドバイザーの方に来ていただき、パネルシアターや絵本の読み聞かせをしてもらったり、親子で体を動かして楽しい時間を過ごしました。絵本『ぴょーん』(まつおかたつひで/作)は、子どもたちが

- * よく知っている大好きな絵本です。絵本の中でカエルやバッタが跳ねると同じように自分たち
- * も跳ねてみたり、お母さんに高い高いをしてもらったりと体を使った遊びに発展していきまし
- * た。絵本から、これほど様々なあそびが出来ることにとっても驚きました。
- * このひろばは、お母さん方が考えた年間計画をもとに毎週開催されて
- * います。外遊びをしたりお料理をしたり、時にはお部屋でゆっくり
- * くつろいだりと、みんなで仲良く過ごされています。



妊娠～育児支援のための講座

つどいの広場ほくぶキッズ(加西市)にて、加西市「さかいこどもクリニック」酒井 圭子 院長にお越しいただき講座を開催しました。病気や予防接種に関する知識を得るよい機会となりました。

「妊娠～育児支援のための講座」申込受付中

- ❖開催時間 原則 13:30 以降、約 1 時間
- ❖費用 無料
- ❖申込み先 まちの子育てひろばコネクターまで
お早めにご連絡ください

【昨年までの医師派遣と同様の内容です】



予防接種について ～酒井院長より～

Q. 予防接種をするより自然にかかった方がいいのではないですか？

病気にかかると重病で、命にかかわることもあります。また、まだ予防接種を受けていない子どもにうつしてしまいます。予防接種は本人のためでもあり、大切なマナーです。

Q. 副反応がゼロではないのに、それでも予防接種は必要ですか？

はい必要です。副反応よりも、治療法のない病気にかかってしまう方がはるかに危険だからです。

Q. 百日咳やジフテリアなどの病気は流行していないので予防接種は必要ないのではないですか？

多くの方が予防接種を受けて抵抗力をつけているから、今はその病気が流行していないのです。受けていない人が増えるとまた流行することになるので必ず予防接種は受けておいてください。

Q. 一度に何種類も受けても大丈夫ですか？

複数のワクチンを同時に受けても、副作用が増えることはありません。また、効果が下がることもありません。かかりつけの小児科医にスケジュールを作ってもらいましょう。

知っ得豆知識

「北播磨こどもの救急かるた」より

よ ほうせっしゅ おやから
こ への おくりもの

受けよう予防接種



お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力(免疫)は、百日せきや水ぼうそうは生後3カ月までに、はしかやおたふくかぜは生後12カ月にはほとんどが自然に失われていきます。

そのため、この時期を過ぎると、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

子どもは発育と共に外出の機会が多くなり、感染症にかかる可能性も高くなります。

予防接種に対する正しい理解のもと、順番を考えて接種しましょう。